

平成21年度大津市事務事業評価（二次評価）事業仕分け結果

班 別	第1班	時 間	16:03~16:45
事 業 番 号	8	所管部課名	教育委員会 学校教育課
事 業 名	(補) 遠距離通学者通学費補助事業		
事業仕分け結果	(4) 市実施 見直し要		
内 訳	(1) 不要	—	
	(2) 国及び県実施	—	
	(3) 市実施 現行通り	—	
	(4) 市実施 内容・規模見直し	5名	
	(5) 市実施 民間委託	—	
	(6) 民営化 (NPO、地域団体含む)	—	
<p>【事業仕分け判定に係る意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合併によるとはいえ、格差はなくすべき。全額補助も検討するべきだと思う。 ・ 市全体で補助内容は統一すべき。 ・ 思うがままにすればいいのでは。 ・ かかる交通費に応じて補助率を変えても良いのではと思う。 ・ 自転車通学を認めれば、補助額が減るのではないか。 			

事業仕分け発言要旨	
コーディネーター・評価者	事業説明者・補助者
	・ 事業概要説明（省略）
<p>(コーディネーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスなどの公共交通機関がない地域はどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葛川学区などはスクールバスを活用している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 距離条件に根拠はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学援助の場合は、小学校4%・中学校6%以上で全額補助。 ・ 小学校3%・中学校5%以上は遠距離通学補助となり、半額補助となる。 ・ 通学にかかる時間が概ね1時間程度の距離を目途にしている。
<p>(コーディネーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志賀町合併時の取り決めに対して、全市的に統一すべきと結論を出せば良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧志賀町時代、現在の場所に志賀中学校が統合された経過をふまえ、ダブルスタンダードになっているが、適当な時期に条件を統一したいと考えており、ご意見を伺いたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学の対象者以外は、すべて徒歩か自転車か。 ・自転車通学では補助はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校により状況が違う。自転車通学許可の学校は特別な事情がある。基本的には徒歩である。 ・自転車通学者には補助はしていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期券の購入確認はどのようにしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校長が行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3[㊦]・中学校5[㊦]から小学校4[㊦]・中学校6[㊦]に伸ばすことに意味はないか。 ・志賀町合併時の遺産をなくしたいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり ・遠距離通学補助は各市町村ごとにその地形などの状況に応じて取り決めている。中には全額補助の市町村もある。志賀町遺産の見直しではなく、全体の制度の見直しを行いたい。
<p>(コーディネーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津市では学校選択制はとらないのか。選択した結果遠距離となった場合はどうなるのか。 ・通学補助からスクールバスに変更した場合のコスト比較は。 ・兄弟がいる場合の4分の3の補助の意味は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校選択は実施している。学校選択により遠距離になっても補助はしない。 ・コスト比較は行っている。スクールバスは人件費が高く、通学補助の方が経済的である。 ・少子化対策という意味もあり、11年前から実施している。
<ul style="list-style-type: none"> ・この制度は、就学援助との整合性がないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも遠距離であることの不便解消である。経済困窮者には就学援助の制度を利用する。
<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟がいる場合の4分の3補助を半額補助に変更したら、どのくらい経費の削減が見込めるか。 ・距離条件を統一することで、どのような意味があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・削減金額については、調査する必要がある。また、なくすことについて、平成10年度導入時の経緯を調査するが、すぐになくすのは難しい。(小学校で二人目の子供は35%。) ・制度条件は大津市で統一すべきと考えている。
<p>(コーディネーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度運営にかかる事務負担はたいへんではないか。 ・予算額2千万円を教育の質向上に振り向けられないか。生徒数が減っていくため、将来的にはごく少人数のための補助になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務については学校と協力して行っている。 ・中学校ではバス利用で年間11万7千円の負担が必要な地域がある。金額の大きさから考えるとなくすことは困難。
<ul style="list-style-type: none"> ・全額補助ではなく本人負担を求めていることは望ましい。志賀町と合併して3年経過したことから、丁度、見直しをする時期である。 	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめなどが理由で転校した場合は、補助の対象になるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ならない。
<ul style="list-style-type: none"> ・このような制度の存在を市民は知っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に周知をしている訳ではなく、学校が通学路を把握しての申請となる。